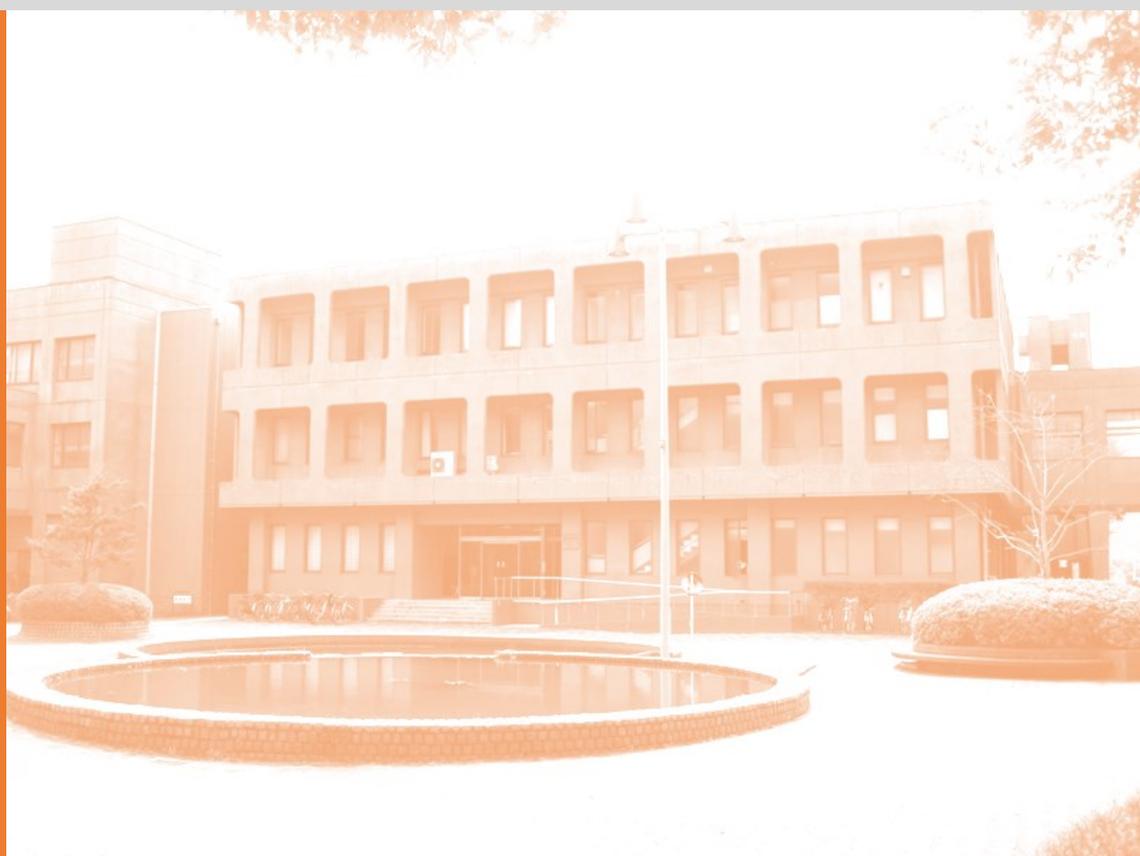




島根大学附属図書館 年報2022

SHIMANE UNIVERSITY LIBRARY Annual Report 2022



図書館長より

「デジタル・ライブラリー」の 実現にむけて

附属図書館長に就任して、この春から3年目を迎えています。この間2020年春から続いたコロナ禍の中でも、図書館職員の皆さんのご努力、そして、コンシェルジュなどの学生さんの献身的な協力により、支障をきたすことなく運営がなされてきたことに安堵するとともに、図書館を利用される先生方、学生さんの理解があったからこそ、何とか乗り切ることができたと、感謝致しております。コロナが落ち着き、5月8日より感染症法の5類に位置づけられたことに伴い、図書館も、開館時間はもちろん、閲覧室の利用できる座席数およびラーニング・コモンズ等もコロナ前の状況にほぼ戻っていますので、どうぞ活発な利用をお願い申し上げます。

さて、コロナ禍の3年間、日本全国の図書館で集まって行われる研究会等の開催も、ほぼオンラインで行われて来ましたが、やっと対面で行われるようになり、第70回国立大学図書館協会総会の現地開催（2023年6月22・23日、一橋大学）に参加しました（オンラインでも参加できるハイブリッド開催）。国立大学図書館協会とは、全国92の国立大学および大学共同利用機関等の会員館の緊密な連携により大学の使命達成に寄与することを目的とする組織です。総会で催された研究集会や文科省所管事項説明などより、今更ながら気付かされたのは、今の大学図書館に求められているのは、「デジタル・ライブラリー」の実現という言葉につきることです。ここでいう「デジタル・ライブラリー」とは、1990年代に盛んに用いられた「電子図書館」をさらに進化させたものに相当します。全国の図書館の所蔵する図書・雑誌や資料などのデジタル化の結果として生じた運営やサービス、図書館職員のスキルや変革なども含む形で、それぞれの大学図書館自身が、デジタル・トランスフォーメーション（DX）を推進していることを指します。本年1月に、科学技術・学術審議会 情報委員会下に設置された「オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方検討部会」で取りまとめられた「審議のまとめ」（文科省のホームページからダウンロードできます）には、2030年度を目途に「デジタル・ライブラリー」を構築することが掲げられています。そのために、検討すべきこととして、以下の(1)～(4)の四項目が記載されています。

(1) 今後の大学図書館に求められる教育・研究支援機能や新たなサービスについて・・・全国規模のデジタル・アーカイブ基盤の構築のほか、機関リポジトリ（島根大の場合は“SWAN”と呼んでいる）を通じた学術論文等のオープン化を積極的に推進することが必要である。

(2) (1)のサービスを実現するための、情報科学技術及び「場」としての大学図書館の効果的な活用について・・・

今後の大学図書館には、物理的な「場」に制約されることなくその機能を再定義し、利用者にとって最適な環境を構築する必要がある。

(3) (2)で述べた機能やサービスの実現に求められる人材について・・・検索システム等の各種デジタルサービスなどの高度なスキルに加え、情報の特性、学術情報や研究データの研究者側から見た位置づけも理解できるような専門人材を大学図書館に配置するとともに、そのための人材育成と組織体制の構築が必要である。

(4) 大学図書館間の効果的な連携について・・・今後、大学図書館に求められる機能やサービスは、一大学図書館では対応が容易でないことも予想され、「デジタル・ライブラリー」を実現するために大学間の連携を構想することも重要である。

何やら難しいですね。そもそもオープンサイエンスとは何かと思われるかもしれません。しかし、5月に行われたG7仙台科学技術大臣共同声明の中で、「新たな知の創造に貢献できるよう、研究データや論文を含む科学的知識を公平に広めながら、オープン・サイエンスの拡大で協力」とあります。また、政府は2025年度の科研費などの新規公募分から、学術論文等の即時オープンアクセスを検討しています。もう、待ったなしなのです。

総会の懇親会で、他大学の様子を尋ねると、限られた予算で電子ジャーナルをどう効果的に購入・利用するかの問題と同時に、オープンサイエンスにどう対処するかも大きな話題の一つでした。今回、現地開催の総会に参加して、このような全国大学図書館の置かれている状況を肌で感じ取ることができました。利用者が図書館に何を求めているか常に整理・検討していくことの重要性を改めて感じております。これからも、附属図書館を十二分に利活用くださるよう、努力致したく考える所存です。宜しくお願い申し上げます。



第70回国立大学図書館協会総会（一橋講堂にて）

附属図書館の理念と目標

2013（平成25）年8月2日学術情報機構附属図書館運営会議承認

理念

島根大学は、社会の発展と進歩に貢献するため、豊かな人間性と専門性を身につけた人材の養成を使命とし、創造性ある研究の促進や地域連携を推進しています。（「島根大学憲章」より）

附属図書館は、島根大学における学修、教育、研究を支援するための基盤施設として学術情報の収集、提供に努め、また、地域や国際社会との連携をすすめ、地域に根ざし、社会に貢献できる図書館を目指します。

目標

1. 学修・教育支援のための資料と環境の整備

学生の学修を支援するため、充実した資料と学修環境を整備し、人格を育む教育を目指して、学内の教育研究プログラムと連携した教育支援を行います。

2. 研究支援のための学術情報整備

多様な分野の特色ある高度な研究を支援するため、国内外の学術情報の収集整備に努め、これらを効率的に利用できる電子図書館機能を充実します。

3. 地域の学術情報拠点としての連携協力

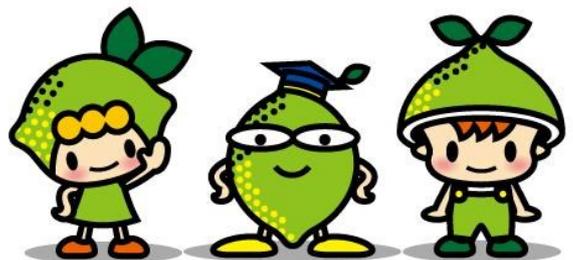
地域の特性と大学の特色を生かした企画、運営をすすめ、地域の学術情報拠点として、資料提供、連携企画、情報発信等を積極的に行います。

4. 学術コミュニケーションへの貢献

大学の研究成果や貴重資料を世界に向けて発信し、学術コミュニケーション活動に貢献します。

CONTENTS

TOPICS	4
統計	
・基本統計	11
・利用者	12
・貸出	13
・図書	14
・図書館資料費	15
・電子リソース	16
・Webサービス	17
・相互協力	18
・講習会／その他	19
その他の記録	20
図書館日誌	21



島根大学附属図書館マスコットキャラクター
(左から) みいなちゃん、ライム博士、けんさくくん

TOPICS

■新型コロナウイルスへの対応

2022年度も、大学の「新型コロナウイルス感染症に係る行動指針」の下で図書館サービスを提供したが、本館・医学図書館ともに、行動指針のフェーズ引き下げに応じて徐々に制限を緩和し、感染防止と利便性とのバランスをとりながら対応した。

両館共通の対応として、換気方法の見直しを行い、本館は6月、医学図書館は2月に窓開け換気から機械換気へ移行した。窓開放によって外気を取り入れる換気は資料保存や空調効率の面でのデメリットが大きい一方で、機械換気では外気の影響を抑えることができる。換気方式の切り替えにあたっては厚生労働省の推奨する換気量と在室人数の条件を満たすことを確認した。

■図書館コンシェルジュ活動

「図書館コンシェルジュ」とは、職員と協働し、附属図書館本館におけるピアサポートを進めるとともに、学生の視点によるサービスの改善などを目的とする学生ボランティアである。

2022年度は、館内装飾や図書展示といった従来の企画に加えて、ハロウィン企画・クリスマス企画・年末年始企画など季節のイベントに合わせた新規企画の立案が多数あった。休止していたオリジナルグッズ制作企画（ブックカバーや葉）の再開や、広報活動のため開設したInstagramアカウントの運用開

本館では使用頻度の高い箇所の定期的な消毒や座席数の制限、一部施設の利用制限といった感染防止策を継続した。学外者の利用については、1日60分までの滞在を条件として6月に再開した（滞在時間の制限は2月に解除）。また、県外大学進学者への特別措置については年度末をもって終了した。

医学図書館では座席数の制限や一部施設の閉鎖、閲覧スペースのゾーニング、学外者の利用制限といった感染防止策を継続した。学内者に対する24時間利用のサービスについては5月に再開した。ウイルスの不活性化を目的としていた、返却図書の3日間隔離については、9月に終了した。

始といった変化もあり、新たな試みに挑戦した年となった。

クリスマス企画ではアドベントカレンダーをモチーフにした図書展示を行い、年末年始企画では、「うさぎ」「小説色々」といったテーマが書かれたタグがつけられた本の福袋を展示した。年末年始に実施した本の福袋は特に好評で、用意した16個の福袋のうち13個が利用者の手に取られ、『利用者が自分からはなかなか手に取らない本に触れられる機会をつくる』という目標を達成することができた。

■企画展示「命の絆展—被害者も加害者も出さないまちづくり—」を開催

この企画展は、犯罪被害者遺族による手記や警察等の支援活動の紹介を通して、被害者も加害者も出さない街づくりに向けた機運の醸成を目指して開催された。本学での開催は、4回目となる。

コロナ禍での入構制限期間中の開催となったため、本学の学生・教職員のみを対象としていたが、約330名の来場があった。また、5月17日（火）には本学の授業「地域社会の生活と安全」において、主催者である江角氏による講義も行われた。

被害者の等身大パネルに貼られた写真や遺品、残された家族による手記、警察等による被害者支援の取り組みや関連書籍の紹介・展示を通して、被害者たちが伝える命の重さ、大切さについて考える機会となった。

■開催概要

期間：2022年5月18日（水）～6月12日（日）

会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）
主催：島根県警察本部、（公財）島根被害者サポートセンター、江角由利子氏
共催：島根大学附属図書館



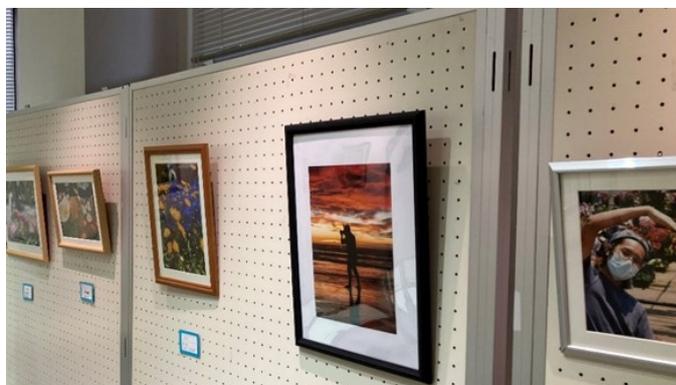
TOPICS

■企画展示「島根大学写真部『かわせみ展』」を開催

本展では、島根大学写真部の部員による約40点の作品が展示され、街角で見つけた草花、宍道湖の夕日、ローカル鉄道など、地域の自然や様々な風景を切り取った写真が並び、来場者を楽しませていた。

期間中は、学生を中心に約390名の来場があり、アンケートでは「身近な場所の写真があって、おもしろかった。」「色彩豊かでとても楽しめた。町中の風景をもっと意識してみたいと思った。」「あちこち出かけたくなった。」など、作品に心を動かされた来場者から多くのコメントが寄せられた。

会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）
主催：島根大学写真部



■開催概要

期間：2022年6月13日（月）～7月4日（月）

■廃棄予定図書の無償提供

本館において、除籍済みの廃棄予定図書について有効活用を図るため、本学の学生・教職員を対象に無償提供を行った。会場は3階多目的室で、感染症対策としてカウンターで受付を行い、会場への入場者数及び滞在時間に制限を設けたうえで実施した。いずれの回も盛況で、約3割の廃棄予定図書が持ち帰られた。

提供冊数：

- 第1期 図書約4,000冊、雑誌約600冊
- 第2期 図書約3,000冊



■開催概要

期間：第1期 2022年7月5日（火）～8日（金）
第2期 2023年1月17日（火）～20日（金）
会場：本館3階多目的室

■企画展示「青年海外協力隊活動写真展～平和への取り組み～」を開催

この企画展は、主に学生を対象に、JICA（国際協力機構）の青年海外協力隊の取り組みを知ってもらい、グローバル人材の醸成につなげることを目的に開催された。

青年海外協力隊が世界各地で実施してきた原爆展の写真、ポスターなどを中心に、開発途上国の人々の平和へのメッセージ、テーマに関連する大学所蔵図書の展示、JICAの事業全般についても写真等で紹介した。展示期間中、約240名の来場があった。

主催：JICA中国（島根県JICAデスク）
共催：島根大学附属図書館、島根大学国際センター



■開催概要

期間：2022年7月19日（火）～8月9日（火）
会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）

TOPICS

■小泉八雲の自筆書簡画像データ公開

附属図書館で所蔵しているラフカディオ・ハーン（小泉八雲）関連資料の中に、ハーンが英語教師として赴任した松江中学校（島根県尋常中学校）の教頭であった西田千太郎に宛てた45点の自筆書簡がある。2人の往復書簡のうち現時点で内容が確認可能なものは約150点あるとされているため、そのうち3分の1近くを当館が所蔵していることになる。ハーンは松江滞在時に西田と親交を深め、松江を離れた後も、西田が36歳で亡くなるまで書簡でのやり取りは続いている。残された書簡からは、西田に対する深い尊敬と信頼がうかがい知れるとともに、日常の様々な場面でのハーン的心情がよく分かり、ハーンの作品を理解するうえでも貴重な資料である。

2022年8月、附属図書館デジタルアーカイブにおいて、所蔵する全点の画像データ公開を開始した。書簡毎に英文及び日本語訳テキストも同じページで閲覧でき、大学等での教育・研究活動への活用も期待される。

案内ページURL：<https://www.lib.shimane-u.ac.jp/new/2022081800025/>



■企画展示「ラフカディオ・ハーンの手紙

—常松正雄先生講演会に寄せて—」を開催

本企画展は、前項で紹介したラフカディオ・ハーン（小泉八雲）と西田の書簡150通を全訳した常松正雄氏（本学名誉教授）の講演会（島根大学ラフカディオ・ハーン研究会主催）が本学で開催されることにあわせて実施した。企画展では、当館が所蔵するハーンの自筆書簡と常松氏の日本語訳を中心に、ハーンの著作、常松氏の講演会関連資料などを展示した。

ハーンの手紙は一般公開の機会も少なく、期間中、貴重な資料を閲覧するため多くの来場があった（合計約480名）。



【企画展を観覧する上定松江市長】（右端）

■開催概要

期間：2022年8月23日（火）～9月26日（月）

会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）

主催：島根大学附属図書館、島根大学ラフカディオ・ハーン研究会

後援：小泉八雲記念館、八雲会

協力：松江市立中央図書館



TOPICS

■オープンキャンパス企画「館内スタンプラリー」開催

図書館コンシェルジュが、2022年度オープンキャンパスで高校生及び保護者を対象とした「館内スタンプラリー」を実施した。

今回の企画は、オープンキャンパス参加者がスタンプラリーをしながら図書館を見学できるように館内スタンプを設置したもので、全6か所のスタンプを集めた参加者には景品として、図書館コンシェルジュ制作のオリジナル葉を贈呈した（スタンプラリー参加者173名中113名が葉を受け取った）。

スタンプラリーの他、図書館コンシェルジュの活動をまとめた広報誌やオリジナルブックカバーの配布企画、来館者参加型の展示企画「読書の木」も同時に開催しており、多くの来館者を楽しませた。

オープンキャンパスが対面形式で開催されるのは実に3年ぶりで、図書館コンシェルジュにとっても数年ぶりの大規模なイベント企画の運営となったが、メンバーが協力して準備を整え、200人以上の来館者を迎えることができた。

■開催概要

期間：2022年8月8日（月）～9日（火）

会場：島根大学附属図書館本館

対象：高校生及び保護者



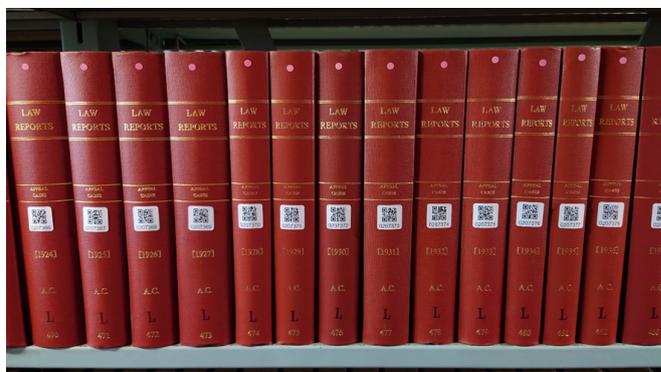
■QRコードを利用した蔵書点検の実施

QRコードを用いた蔵書点検（以下、QR蔵書点検）を試験的に本館の一部エリアで実施した。蔵書点検とは図書館における棚卸しにあたる業務で、本館では例年9月上旬に5日間休館して、約20万冊の図書の点検調査（実査）を行っている（6年間で館内の資料を一巡する計画）。

通常の蔵書点検では、図書の表紙に装備されたバーコードラベルをバーコードリーダーで読み込むために、「書架に並んだ図書を1冊1冊引き出し、バーコードを読み込み、また元の位置に戻す」という作業が発生する。一方、QR蔵書点検では、読み込み対象であるQRコードが図書の背表紙に装備されているため、点検の際に図書を書架から動かす必要がなく、大幅な作業効率向上が期待できる。今年度QR蔵書点検の対象としたエリア（製本雑誌約3,500冊）では、従来の半分程度の作業時間で点検作業を終えることができた。

QR蔵書点検の課題としては、事前準備（既存資料へのQRコードの貼り付け作業など）に一定の時間を要することが挙げられる。今後は事前準備に要する

コストを考慮しつつ、対象範囲拡大を検討していく。



TOPICS

■企画展示「東洋思想の巨星 中村元博士『はじめのはじまり』」を開催

中村元記念館（松江市八束町）は、2012年に中村元博士の業績の顕彰と東洋思想文化の研究と普及、そして学術の振興に寄与することを目的として開館し、2022年に10周年を迎えた。

本企画展では、中村元記念館が所蔵する中村元博士の若き日の作文・日記や、附属図書館が所蔵する関連書籍を展示した。後に東洋思想の巨星と称された中村元が、若いころ何を考え模索していたのか、また大きな困難や挫折とどのように向き合ってきたのか、その思想の原点に触れられる展示内容であった。期間中、学生や一般市民など、約350名の来場があった。

■開催概要

期間：2022年10月3日（月）～10月31日（月）

会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）

主催：中村元記念館

共催：島根大学附属図書館



■英語版学習支援ポータルを公開

2022年10月6日（木）、英語版学習支援ポータルを公開した。コンテンツには図書の借り方や施設の利用方法等の基本的な図書館利用案内と、オンラインチュートリアル、VR図書館ツアーが含まれている。内容は既に存在する日本語版の学習支援ポータルに準じたが、オンラインチュートリアルについては、英語資料の情報が少ない項目は除き、「図書を探す（Search Books）」と「英語論文を探す（Search English Articles）」のみとした。

今後は日本語よりも英語での情報収集を得意とする学生等に向けて、更なる情報の充実を検討する。



■3年ぶりとなる学生選書ツアーを開催

本館では、市内書店にて3年ぶりとなる学生選書ツアーを開催した。12名の学生の参加があり、思い思いに選書を楽しんだ。今回選書したうち、すでに所蔵されているものを除いた計170冊を購入し、学生選書として新刊コーナーにて展示した。今回購入した図書の一部は、島根大学学生生活推進会からの寄贈として整備されている。

参加した学生からも、「久しぶりに書店に行って実際に選べて楽しかった」「また開催してほしい」などの感想が寄せられた。

なお、図書のリクエストについては通年で受け付けているが、実際に現地へ行って選書できるという楽しさを体感できるこの選書ツアーは、今後もコロナ感染の状況を見て継続していく予定である。

■開催概要

日時：2022年11月2日（水）14：30～17：00

会場：今井書店グループセンター店



TOPICS

■企画展示「しまねで世界と繋がる！－しまね国際センター＆JICAパネル展－」 (島大グローバル月間イベント) を開催

この企画展では、しまね国際センターとJICA中国が行っている多文化共生、国際交流、国際協力事業について、各団体の取り組みや、県内における外国人や多文化共生の動き、また世界で活躍する青年海外協力隊員の活躍を紹介した。

島根と世界の繋がりを実感し、身近なこととして考える機会にするとともに、11月の島大グローバル月間に合わせて実施することで本学のグローバル人材の育成・醸成に貢献することを目的としており、展示期間中は約220名の来場があった。

主催：(公財)しまね国際センター、JICA中国



■開催概要

期間：2022年11月16日(水)～12月7日(水)

会場：本館1階展示室(地域コミュニティラボ)

■企画展示「米国製・旧ソ連製・ウクライナ製地図に見る

ウクライナ侵攻」を開催

この企画展は、米国製・旧ソ連製・ウクライナ製地図をもとに、地理学的な視点からウクライナの地域的特性を明らかにし、ロシアによるウクライナ侵攻の意味を考える機会とすることを目的として開催した。展示資料の準備は、法文学部の専門教育科目「地図学」及び「地理学調査法」の受講生が、担当教員の指導のもと行った。

会期初日には、担当学生が展示資料の解説を行い、来場者はウクライナ侵攻及び戦争被害の事実について理解を深めた。当日は多くのメディア取材があり、テレビ、新聞で報道された他、後日ラジオ番組で展示に携わった学生へのインタビューも行われた。展示期間中、約360名の来場があった。



■開催概要

期間：2022年12月23日(金)～2023年1月18日(水)

会場：本館1階展示室(地域コミュニティラボ)

主催：法文学部社会文化学科地理学研究室



TOPICS

■企画展示「島根大学生が発信する『島根の文学者たち』の世界」を開催

本企画展では、2022年度の共通演習Ⅳ（法文学部言語文化学科）、地域資料実践演習Ⅰ（大学院人間社会科学研究科）の受講学生が、島根にゆかりのある文学者たちの事績や著作を調査した結果をもとに解説パネルを作成し、著作など図書館の蔵書とあわせて展示した。

取り上げたのは森鷗外、島村抱月、永井隆、園山俊二、安野光雅など計9名の作家で、資料作成を行った学生によるギャラリートークも2回実施した。展示期間中は約380名の来場があった。

■開催概要

期間：2023年1月30日（月）～3月10日（金）

会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）

主催：島根大学法文学部言語文化学科

共催：島根大学附属図書館、島根大学法文学部山陰研究センター



■館内用ブックカートとバスケットの設置

附属図書館本館において、館内用ブックカートとバスケットの設置を行った。これは図書の持ち運びに補助が必要な方や、本を沢山借りる方に快適に図書館を利用いただくことを目的としたものであり、2023年3月16日から運用を開始した。

ブックカートを利用することで、複数の図書を選びながら館内を巡る際の負担が軽減されるほか、手で支えていなくてもブックカート上にある台に本を置いた状態で開いて閲覧することができる。

また、本を多数借りた方が学内で快適に持ち運ぶことができるよう、バスケットはキャンパス内限定で、当日に限り館外貸出も行うことができる。

■概要

【ブックカート】

設置場所：附属図書館本館1階 入館ゲート横

館外貸出：不可

【バスケット】

設置場所：本館1階退館ゲート横、2階学習ゾーン前

館外貸出：キャンパス内限定、当日に限り可



統計

■基本統計：2022年度データ

		本館 (松江キャンパス)	医学図書館 (出雲キャンパス)	合計	
開館日数	平日	234	241		
	土・日・祝日	63	78		
	合計	297	319		
利用対象者数 (2023年5月1日現在)	教職員	3,667		3,667	
	学生	4,941	1,108	6,049	
	学外者	463	29	492	
	合計			10,208	
入館者数	学生	176,091	71,925	248,016	
	教職員	9,994	6,434	16,428	
	学外者	3,642	113	3,755	
	合計	189,727	78,472	268,199	
貸出冊数	学生	45,216	5,563	50,779	
	教職員	5,660	1,535	7,195	
	学外者	2,716	118	2,834	
	合計	53,592	7,216	60,808	
蔵書冊数 *1 (2022年3月31日現在)	和漢書	693,748	73,685	767,433	
	洋書	157,121	65,661	222,782	
	合計	850,869	139,346	990,215	
図書受入冊数 *1	和漢書	購入	4,845	1,052	5,897
		製本	181	261	442
		寄贈	2,172	114	2,286
		再受入	97	0	97
		計	7,295	1,427	8,722
	洋書	購入	296	67	363
		製本	0	15	15
		寄贈	184	2	186
		再受入	5	78	83
		計	485	162	647
	合計	7,780	1,589	9,369	
雑誌所蔵種類数 *1	和雑誌	8,611	1,035	9,646	
	洋雑誌	2,886	1,614	4,500	
	合計	11,497	2,649	14,146	
雑誌受入種類数 *1	和雑誌	購入	324	117	441
		寄贈・その他	397	124	521
		計	721	241	962
	洋雑誌	購入	39	5	44
		寄贈・その他	10	4	14
		計	49	9	58
合計	770	250	1,020		
資料費 (千円)	図書	18,185	6,294	24,479	
	雑誌	3,364	2,991	6,355	
	小計	21,549	9,285	30,834	
	データベース	6,551		6,551	
	電子ジャーナル経費 *2	77,733		77,733	
	合計			115,118	
文献複写件数	受付	853	790	1,643	
	依頼	1,422	793	2,215	
現物貸借件数	受付	590	42	632	
	依頼	539	27	566	

*1 研究室の資料を含む。

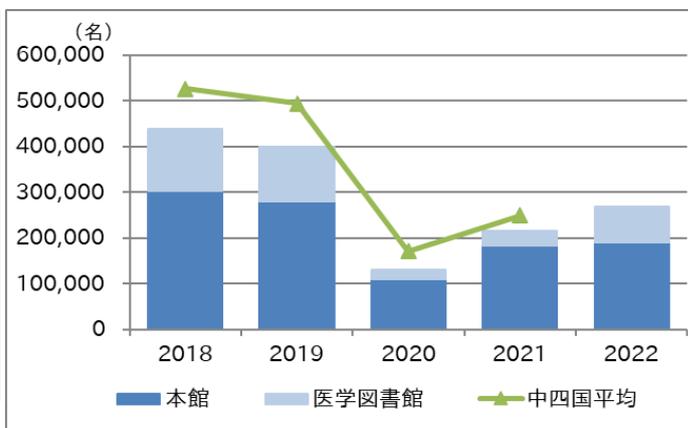
*2 学術情報基盤整備計画にかかる全学共通経費相当分。

統計

利用者

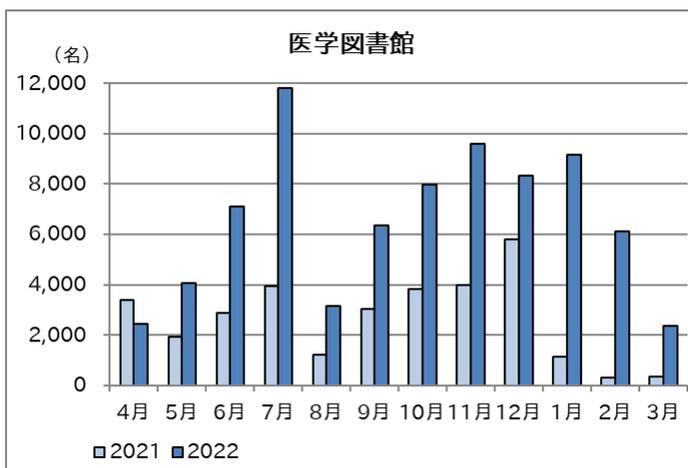
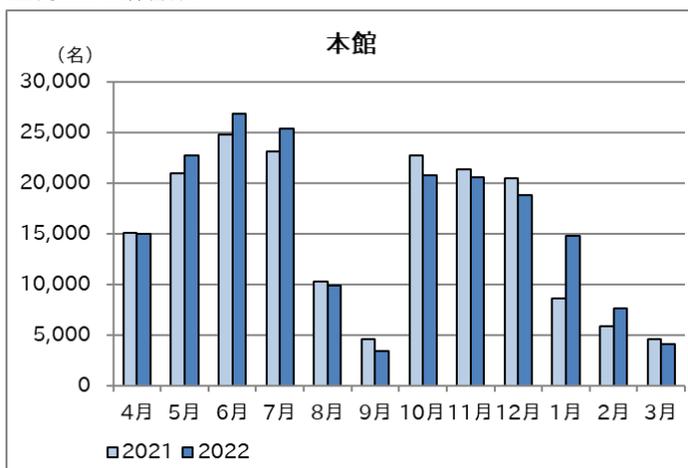
■入館者数

		2018	2019	2020	2021	2022
本館	学生	283,452	262,194	99,075	169,163	176,091
	教職員	10,072	9,889	8,103	9,513	9,994
	学外者	9,718	8,811	2,432	3,810	3,642
	小計	303,242	280,894	109,610	182,486	189,727
医学図書館	学生	126,167	107,769	16,263	26,091	71,925
	教職員	8,743	7,968	5,313	5,644	6,434
	学外者	1,208	1,508	79	66	113
	小計	136,118	117,245	21,655	31,801	78,472
合計	439,360	398,139	131,265	214,287	268,199	
中四国平均	526,500	493,660	171,670	249,170	-	



※中四国平均は、「日本の図書館：統計と名簿」（日本図書館協会編）に掲載の中国四国地区国立大学のうち、島根大学と同規模校（学部数2～7学部）7校（広島・岡山・鳴門教育大学を除く）の平均値を用いた。（以下同様）

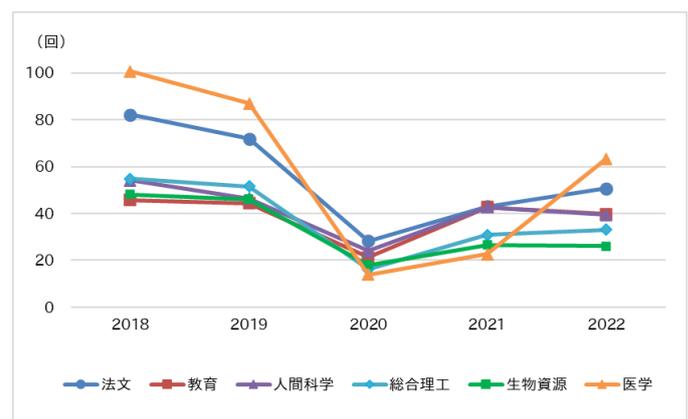
■月別入館者数



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本館	2021	15,121	20,982	24,794	23,142	10,245	4,547	22,734	21,387	20,474	8,618	5,885	4,557
	2022	15,015	22,688	26,796	25,408	9,874	3,418	20,765	20,517	18,760	14,790	7,629	4,067
医学図書館	2021	3,394	1,919	2,893	3,940	1,236	3,021	3,817	3,974	5,789	1,149	317	352
	2022	2,455	4,058	7,089	11,793	3,137	6,363	7,989	9,618	8,324	9,158	6,131	2,357

■学生1人あたりの年間平均来館回数

学部	2018	2019	2020	2021	2022
法文	82.18	71.95	28.29	42.98	50.63
教育	45.71	44.43	21.28	42.66	39.73
人間科学	54.11	46.48	23.95	42.63	39.46
総合理工	54.71	51.50	16.15	30.88	33.14
生物資源	48.20	45.86	17.96	26.52	26.13
医学	100.70	86.88	13.87	22.70	63.36



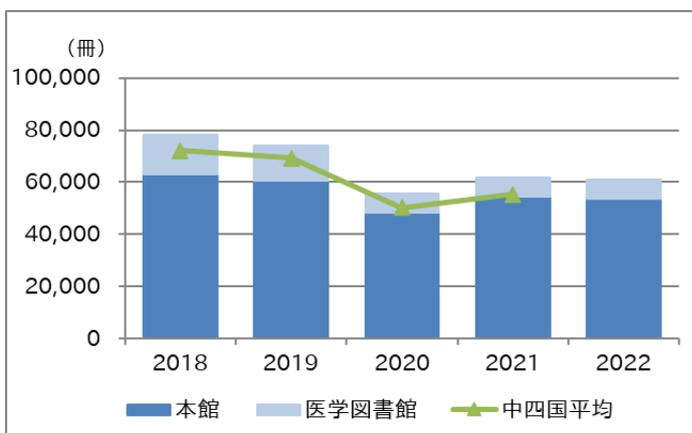
統計

貸出

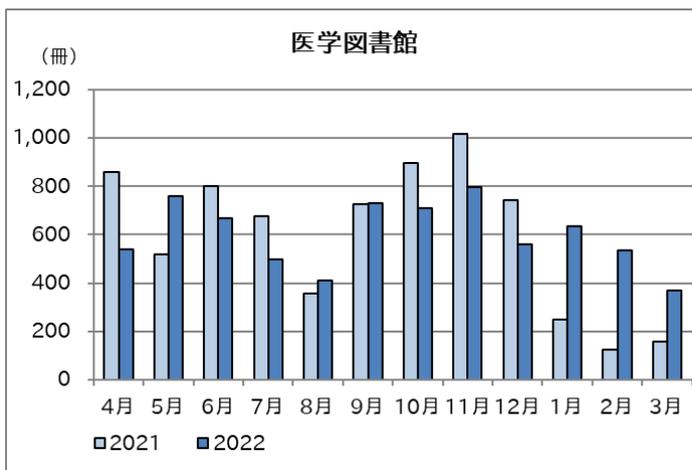
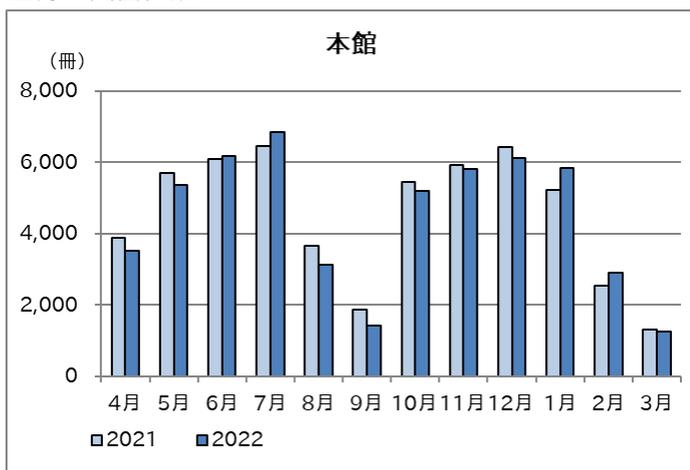
貸出冊数

		2018	2019	2020	2021	2022
本館	学生	52,431	49,327	39,697	46,085	45,216
	教職員	6,191	6,244	5,869	5,477	5,660
	学外者	4,437	4,962	2,572	3,043	2,716
	小計	63,059	60,533	48,138	54,605	53,592
医学図書館	学生	12,258	10,807	5,681	5,090	5,563
	教職員	2,432	2,211	1,805	1,998	1,535
	学外者	347	499	79	32	118
	小計	15,037	13,517	7,565	7,120	7,216
合計	78,096	74,050	55,703	61,725	60,808	
中四国平均	72,170	69,330	50,330	55,330	-	

※延長貸出も回数としてカウントしている。



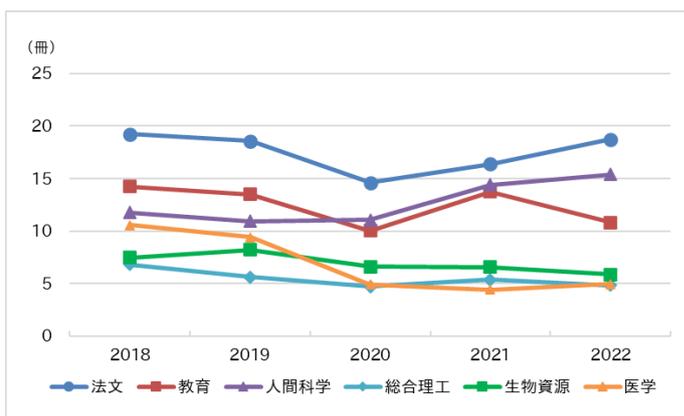
月別貸出冊数



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本館	2021	3,891	5,709	6,082	6,463	3,674	1,872	5,454	5,934	6,442	5,236	2,533	1,315
	2022	3,528	5,354	6,177	6,848	3,139	1,429	5,198	5,806	6,111	5,838	2,895	1,269
医学図書館	2021	859	517	799	677	356	727	897	1,017	742	247	124	158
	2022	541	760	668	498	412	732	710	795	560	635	537	368

学生1人あたりの年間平均貸出冊数

学部	2018	2019	2020	2021	2022
法文	19.22	18.56	14.61	16.39	18.74
教育	14.22	13.48	10.05	13.76	10.82
人間科学	11.77	10.93	11.07	14.38	15.39
総合理工	6.79	5.59	4.69	5.36	4.81
生物資源	7.47	8.23	6.60	6.55	5.88
医学	10.58	9.41	4.93	4.41	4.95



統計

■ 図書

■ 蔵書冊数（分類別）

分類	本館			医学図書館			合計
	和漢書	洋書	小計	和漢書	洋書	小計	
000 総記	91,377	11,513	102,890	809	229	1,038	103,928
100 哲学	41,023	9,431	50,454	1,111	321	1,432	51,886
200 歴史	87,501	7,324	94,825	987	851	1,838	96,663
300 社会科学	171,191	27,059	198,250	1,921	524	2,445	200,695
400 自然科学	60,484	25,555	86,039	3,239	693	3,932	89,971
500 技術・工学	32,889	2,964	35,853	388	29	417	36,270
600 産業	37,227	3,339	40,566	182	23	205	40,771
700 芸術	30,656	4,733	35,389	552	134	686	36,075
800 語学	25,559	9,998	35,557	985	974	1,959	37,516
900 文学	72,363	18,264	90,627	2,007	1,655	3,662	94,289
医学専門	1	0	1	40,122	9,071	49,193	49,194
製本雑誌	43,477	36,941	80,418	21,382	51,157	72,539	152,957
合計	693,748	157,121	850,869	73,685	65,661	139,346	990,215

※ 2023年3月31日現在の数字。ただし、データ抽出は2023年4月12日のため冊数内訳に若干数の変更がある。

※ 視聴覚資料を含む。

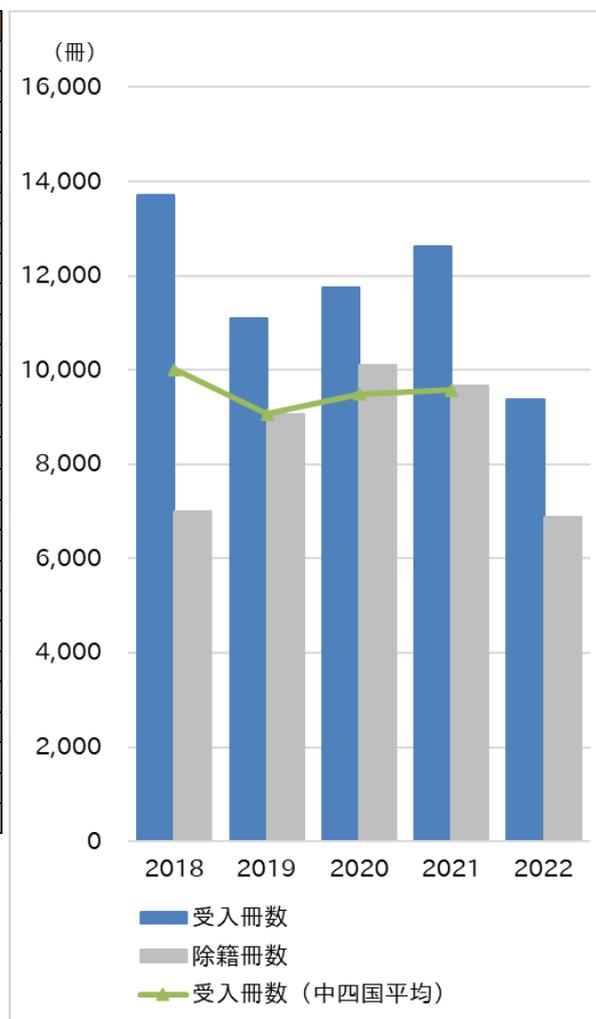
※ 研究室の資料を含む。

■ 受入冊数

		2018	2019	2020	2021	2022	
本館	和漢書	購入	7,148	5,891	5,632	6,323	4,845
		製本雑誌	544	435	204	201	181
		寄贈	2,618	2,134	3,214	2,949	2,172
		再受入	791	393	319	148	97
		計	11,101	8,853	9,369	9,621	7,295
	洋書	購入	264	303	309	359	296
		製本雑誌	0	0	0	0	0
		寄贈	187	216	314	535	184
		再受入	179	7	21	7	5
		計	630	526	644	901	485
小計	11,731	9,379	10,013	10,522	7,780		
医学図書館	和漢書	購入	1,403	1,185	1,169	1,292	1,052
		製本雑誌	325	335	297	299	261
		寄贈	97	85	114	140	114
		再受入	12	0	34	1	0
		計	1,837	1,605	1,614	1,732	1,427
	洋書	購入	80	80	82	190	67
		製本雑誌	51	39	40	24	15
		寄贈	17	1	3	7	2
		再受入	0	0	0	145	78
		計	148	120	125	366	162
小計	1,985	1,725	1,739	2,098	1,589		
合計	13,716	11,104	11,752	12,620	9,369		
中四国平均	10,007	9,070	9,489	9,571	-		
除籍冊数	7,012	9,069	10,097	9,669	6,879		
所蔵総数	981,084	983,119	984,774	987,725	990,215		

※ 視聴覚資料を含む。

※ 研究室の資料を含む。



統計

■ 図書館資料費

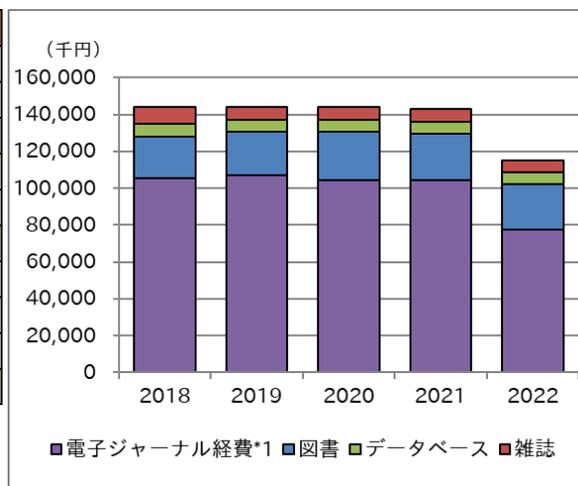
■ 図書館資料費の推移

(単位：千円)

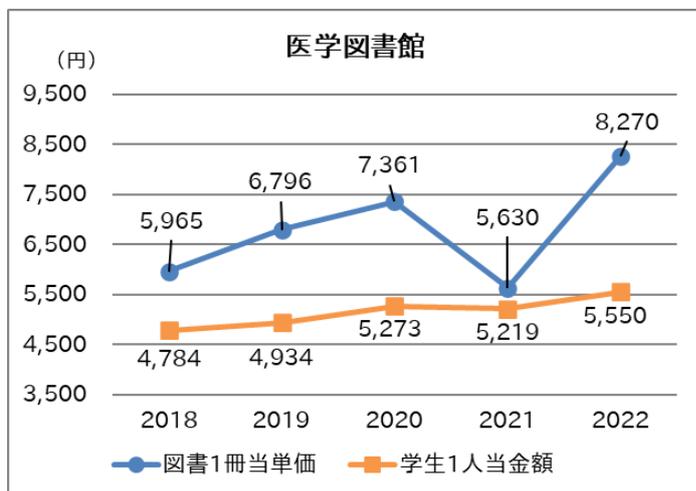
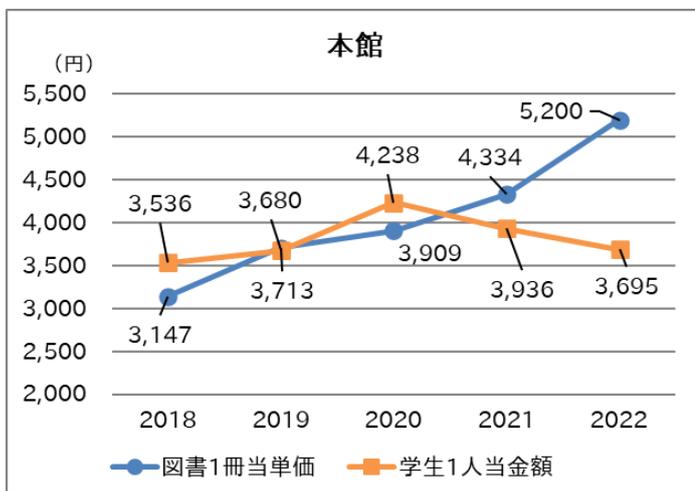
		2018	2019	2020	2021	2022
本館	図書	17,377	17,998	20,505	19,178	18,185
	雑誌	6,093	3,997	3,783	3,899	3,364
	小計	23,470	21,995	24,288	23,077	21,549
医学図書館	図書	5,655	5,743	6,154	6,075	6,294
	雑誌	2,947	2,900	2,831	2,875	2,991
	小計	8,602	8,643	8,985	8,950	9,285
データベース		6,757	6,787	6,509	6,549	6,551
電子ジャーナル経費*1		105,218	106,819	104,229	104,469	77,733
電子ジャーナル(戦略*2)		3,553	7,881	0	2,882	0
合計		147,600	152,125	144,011	145,927	115,118

*1 学術情報基盤整備計画にかかる経費相当分

*2 戦略的機能強化推進経費分



■ 学生用図書費



統計

■電子ジャーナル

■主要電子ジャーナルの利用状況（ダウンロード数）

	2018	2019	2020	2021	2022
ACS All Pubs Package	16,752	-	-	-	30,393
Elsevier社タイトル （うち前払トランザクション）	141,235	127,115	162,699	180,182	127,464
JSTOR *1	1,550	1,128	1,661	1,199	756
Nature	5,160	6,099	7,835	6,081	6,417
Oxford Online	11,158	12,190	-	-	14,835
PNAS	2,504	3,137	27,249	3,196	2,631
Science	2,703	3,212	3,177	3,395	2,891
SpringerLink	32,551	41,341	49,415	51,004	64,701
Wiley Online Library	33,079	50,150	50,352	64,218	67,962
デジタル・オンライン・ライブラリー *2	39,930	36,903	39,386	39,305	33,508

■電子ジャーナル契約タイトル数

		和	2022
電子ジャーナル経費 （全学共通経費等）	ACS All Pubs Package	洋	64
	Cancer cell	洋	1
	JSTOR *1	洋	142
	The Lancet	洋	1
	Nature	洋	1
	Oxford Online	洋	359
	PNAS	洋	1
	Science	洋	1
	SpringerLink	洋	1,562
	Wiley Online Library	洋	1,433
	小計		3,565
図書館含む （部局経費）	Karger	洋	66
	Lippincott (LWW)	洋	58
	その他個別タイトル	洋	33
	デジタル・オンライン・ライブラリー	和	1,513
	その他個別タイトル	和	4
小計		1,674	
タイトル数 合計			5,239

※当該年の1月～12月で集計している。

*1 Arts & Sciences Collection I, Health & General Sciences Collection

*2 電子ブックのダウンロード数も含む。

■データベース

■学術データベースの利用状況

データベース名称	カテゴリ	2018	2019	2020	2021	2022	備考
CINAHL	看護学英語文献	702	593	466	518	805	1-12月／検索回数
Westlaw Japan	法学文献・判例	606	669	1,304	1,155	757	4-3月／ログイン回数
MathSciNet	数学文献	21,702	38,308	22,576	-	12,160	1-12月／検索回数
Web of Science	全分野英語文献	31,124	32,786	29,274	31,413	38,877	1-12月／検索回数
InCites Journal & Highly Cited Data	学術雑誌評価ツール	2,212	2,810	1,198	4,015	3,338	1-12月／検索回数
EBSCO Discovery Service	横断検索ツール	-	-	8313	8,214	7,623	1-12月／検索回数
朝日新聞クロスサーチ	新聞	2,364	2,493	3,634	2,582	3,095	4-3月／ログイン回数
医学中央雑誌Web	医学・看護学文献	71,879	75,167	82,090	84,354	60,919	4-3月／検索回数
化学書資料館	化学参考図書	2,808	3,574	3,334	2,335	1,533	4-3月／アクセス数
ジャパンナレッジ	各種参考図書等	64,650	68,817	71,647	64,578	53,561	4-3月／検索回数
日経テレコン21	新聞	5,076	8,492	9,026	14,537	5,893	4-3月／本文利用件数
ヨミダス歴史館	新聞	2,190	6,058	3,290	4,673	5,640	4-3月／検索回数
ルーラル電子図書館	農学参考図書	1,230	589	757	1,999	2,975	4-3月／記事閲覧回数
和歌・連歌ライブラリー	和歌・連歌	1,133	748	93	1,686	657	4-3月／ログイン回数

■電子ブック

■電子ブックの利用状況（閲覧回数）

プラットフォーム	2018	2019	2020	2021	2022
EBSCOhost eBook Collection	79	62	18	387	292
Maruzen eBook Library	818	344	587	1,101	737
ProQuest Ebook Central	8	119	59	43	57
Springer eBooks	-	3,331	3,537	4,486	2,896

※当該年の1月～12月で集計している。

※統計が入手できたプラットフォーム・期間のみ掲載。

■電子ブック契約タイトル数

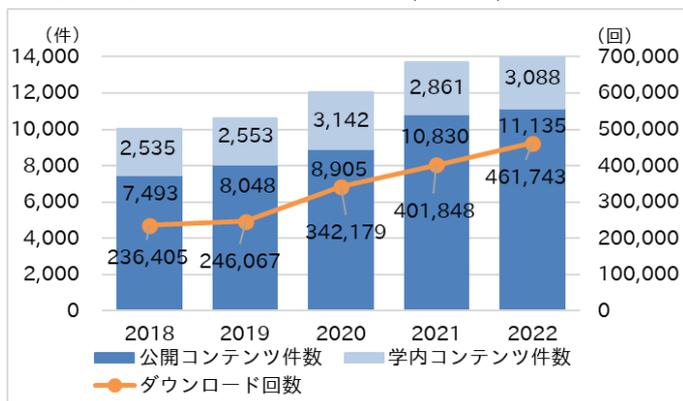
プラットフォーム	和	洋	合計
EBSCOhost eBook Collection	500	60	560
Elsevier ScienceDirect	0	1	1
KinoDen	491	0	491
Maruzen eBook Library	1,882	470	2,352
デジタル・オンライン・イブックス	147	0	147
ProQuest Ebook Central	0	216	216
Springer eBooks	0	14,793	14,793
Ovid ebook	0	4	4
タイトル数合計	3,020	15,544	18,564

※2023年3月31日時点の累積。買い切り分のみ（年間購読型は含まない）

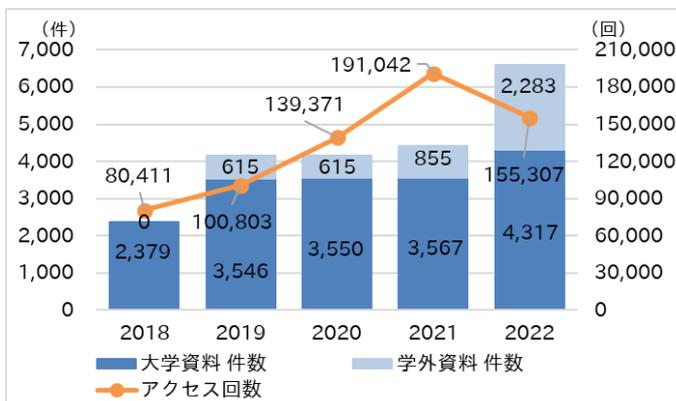
統計

Webサービス

■島根大学学術情報リポジトリ (SWAN)

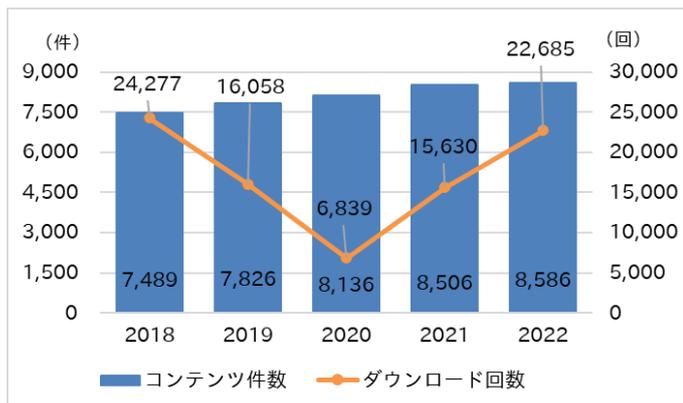


■デジタルアーカイブ



※2018年1月にシステムのリニューアルオープン

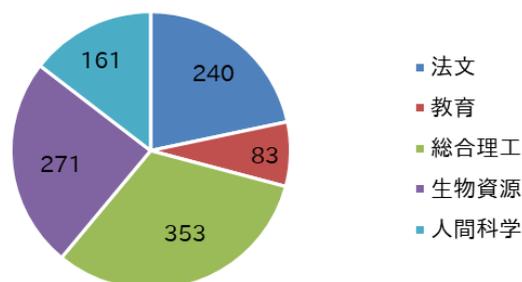
■しまね地域資料リポジトリ (GO-GURa)



■本館の『館内施設利用予約』 (Web予約システム)

部屋名	総利用時間*1	総開室時間	稼働率[%]*2
グループ学習室1	0時間	0時間	-
グループ学習室2	0時間	0時間	-
研究個室1	844時間15分	3,090時間30分	27.32
研究個室2	514時間30分	3,090時間30分	16.65
研究個室3	427時間15分	3,090時間30分	13.82
研究個室4	186時間30分	3,090時間30分	6.03
研究個室5	247時間45分	3,090時間30分	8.02
オンライン会議ブース1	275時間45分	3,090時間30分	8.92
オンライン会議ブース2	37時間15分	3,090時間30分	1.21
オンライン会議ブース3	199時間30分	3,090時間30分	6.46

グループ学習室等の利用回数



*1 総利用時間とは、館内施設を実際に利用した時間を蓄積したもの

*2 稼働率とは、総利用時間を総開室時間で除算したもの

※新型コロナウイルス感染症対策に伴い、グループ学習室1とグループ学習室2は2022年度中は利用受付を中止していた。

統計

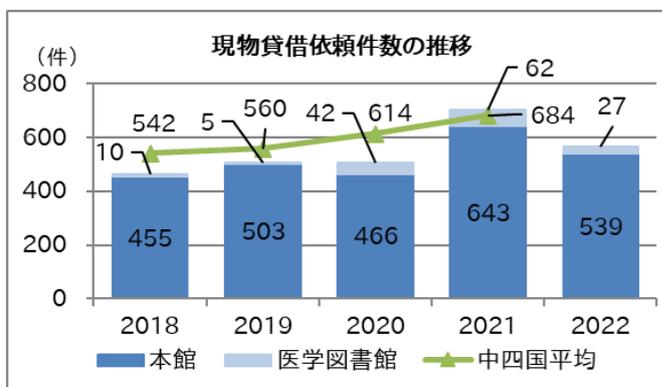
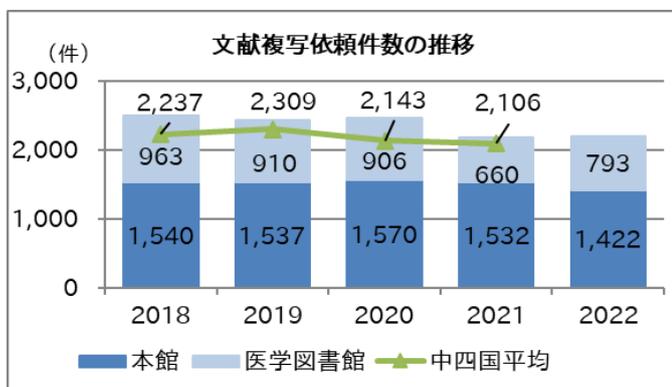
相互協力

文献複写件数

		2018	2019	2020	2021	2022
本館	受付	689	652	762	942	853
	依頼	1,540	1,537	1,570	1,532	1,422
医学図書館	受付	762	891	1,101	1,227	790
	依頼	963	910	906	660	793
中四国平均	受付	2,059	1,880	1,684	1,684	-
	依頼	2,237	2,309	2,143	2,106	-

現物貸借件数

		2018	2019	2020	2021	2022
本館	受付	546	538	597	628	590
	依頼	455	503	466	643	539
医学図書館	受付	22	22	35	49	42
	依頼	10	5	42	62	27
中四国平均	受付	402	368	425	431	-
	依頼	542	560	614	684	-



県内図書館間の相互貸借（本館）

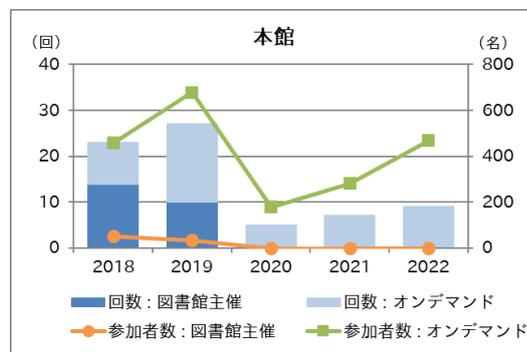
		貸出冊数					借受冊数				
		2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022
本館	島根県立大学（松江）	22	46	42	38	49	4	5	6	14	1
	松江高専	3	5	0	3	5	1	0	0	7	1
	島根県立図書館	33	46	38	49	57	24	16	25	58	47
	県立以外の公共図書館	262	227	230	250	201	17	27	27	63	65
医学図書館	島根県立図書館	1	3	4	18	7	0	0	22	15	12
	県立以外の公共図書館	15	10	27	19	19	0	0	14	38	9
合計		336	337	341	377	338	46	48	94	195	135

統計

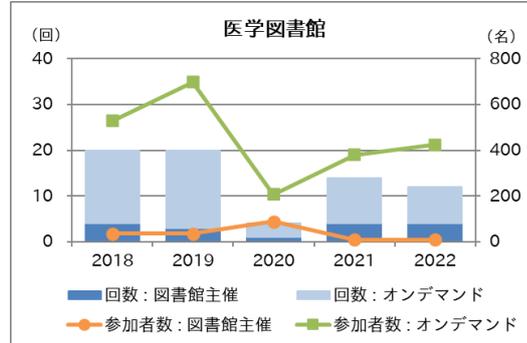
■講習会

■学術情報リテラシー講習会

			2018	2019	2020	2021	2022
本館	図書館主催	回数	14	10	0	0	0
		参加者数	53	34	0	0	0
	オンデマンド*1	回数	9	17	5	7	9
		参加者数	459	679	180	282	468
医学図書館	図書館主催	回数	4	3	1	4	4
		参加者数	36	36	90	10	10
	オンデマンド*1	回数	16	17	3	10	8
		参加者数	529	698	208	380	424
参加総数			1,077	1,447	478	672	902



*1 オンデマンドとは、教員と連携して授業内で実施したものや個々の利用者の求めに応じて開催した講習会を指す。



■その他

■いこうる（男女共同参画図書コーナー）の貸出回数（本館）

テーマ	展示期間	展示冊数	貸出回数
生活、食、社会、介護、セクシュアリティ	2022年4月～2022年6月	100	34
ジェンダー、男性と育児、スポーツ、日記・手記	2022年7月～2022年9月	100	40
キャリア、映画、高齢期、地域	2022年10月～2022年12月	100	50
ジェンダー、しごと、文化、貧困	2023年1月～2023年3月	100	48
合計		400	172

※ 国立女性教育会館からの団体貸出

■松江市立図書館移動図書館の利用状況（本館）

巡回日	新規登	貸出	貸出
2022年6月30日（木）	8	13	34
10月31日（月）	7	18	43
11月29日（火）	5	19	74
合計	20	50	151

■松江市立図書館コーナーの貸出回数（本館）

テーマ	展示期間	展示冊数	貸出回数
松江を知ろう 梅雨を乗り越える本	2022年6月18日～7月15日	40	30
秋の〇〇な本	2022年11月15日～11月29日	18	25
合計		58	55

※ 松江市立中央図書館からの団体貸出（図書館コンシェルジュが選書）

■蔵書リユース市（本館）



※ 2020年度は新型コロナウイルス感染症流行のため、開催を中止した。
※ 2021年度以降は新型コロナウイルス感染症対策のため、無償提供会とした。

■図書館見学・ツアー

実施日	参加者	人数
2022年7月4日	鳥取城北高等学校	26
7月21日	広島県立西城紫水高等学校	10
9月8日	米子北斗高等学校	27
9月20日	島根県立松江東高等学校	35
9月21日	出雲市立浜山中学校	39
9月21日	安来市立伯太中学校	5
10月5日	島根県立大社高等学校	33
10月11日	島根県立江津高等学校	30
10月12日	鳥取県立倉吉西高等学校	12
10月13日	島根県立江津高等学校	33
10月25日	島根県立大東高等学校	45
10月26日	米子北斗高等学校	19
11月28日	鳥取県立倉吉東高等学校	34
2023年1月19日	雲南市立掛合中学校	15

その他の記録

■報道

事項	掲載紙・放送局等（年/月/日）
島根大学附属図書館におけるQRコードを用いた蔵書点検の実験（記事紹介）	カレントアウェアネス-R（2022/7/27）
島根大学附属図書館、同館デジタルアーカイブに小泉八雲の自筆書簡画像データを公開	カレントアウェアネス-R（2022/8/24）
企画展示「ラフカディオ・ハーンの手紙 ー常松正雄先生講演会に寄せてー」	毎日新聞（2022/8/30） 長周新聞（2022/9/2） NHK（2022/9/16） 山陰中央新報（2022/9/20）
企画展示「東洋思想の巨星 中村元博士『はじめのはじまり』」	山陰ケーブルビジョン（2022/10/4）
企画展示「米国製・旧ソ連製・ウクライナ製地図に見るウクライナ侵攻」	山陰中央新報（2022/12/28） 朝日新聞（2023/1/5） TSKさんいん中央テレビ（2023/1/5） BSSラジオ（2023/1/12） 読売新聞（2023/1/17） 中国新聞（2023/1/18）
企画展示「島根大学生が発信する『島根の文学者たち』の世界」	山陰ケーブルビジョン（2023/2/1） 山陰中央新報（2023/3/8）

■展示貸出の実績

会期	展示名	資料名	資料番号
2022年2月4日（金） ～4月10日（日）	企画展「松江藩と絵図ー花開いた地図の世界ー」（松江歴史館）	文化改正出雲国十郡村附絵図	1429869
		改正日本輿地路程全圖	1429880
		萬國航海圖	1429906
		出雲国古図	2100797
		元禄出雲国絵図	2100798
2022年7月23日（土） ～9月10日（土）	2022年度島根大学総合博物館アシカル企画展「備えあれば憂いなし！山陰の自然災害」（島根大学総合博物館）	銀山舊記	0089644
2022年10月15日（土） ～12月4日（日）	神戸市立博物館開館40周年記念特別展「よみがえる川崎美術館ー川崎正蔵が守り伝えた美への招待ー」（神戸市立博物館）	川崎美術館第9回陳列品目録	2156491

図書館日誌

年月日	カテゴリ	館区分	事項
2022年5月8日	コンシェルジュ	本館	オンライン ABD『狙われる18歳！？消費者被害から身を守る18のQ&A』開催
5月10日	展示	本館	展示「本を通じて世界を知る」を設置(～5月31日)
5月18日	展示	本館	企画展示「命の絆展ー被害者も加害者も出さないまちづくりー」を開催(～6月12日)
5月30日	その他	本館	令和4年雑誌人気投票と雑誌リクエストを実施(～6月30日)
6月1日	その他	医学図書館	医学図書館ニュース「インフォ・アクセス」読者アンケートを実施(～7月15日)
6月13日	展示	本館	企画展示「島根大学写真部『かわせみ展』」を開催(～7月4日)
6月17日	会議等	共通	令和4年度第1回附属図書館運営会議(オンライン会議)
6月17日	会議等	本館	令和4年度第1回附属図書館本館運営会議(オンライン会議)
6月20日	その他	共通	デジタルアーカイブに公開コンテンツ(坂根家文書)を追加
6月28日	会議等	医学図書館	令和4年度第1回附属図書館医学図書館運営会議(オンライン会議)
7月5日	イベント	本館	廃棄予定図書の無償提供会を開催【学生・教職員対象】(～7月8日)
7月19日	展示	本館	企画展示「青年海外協力隊活動写真展」を開催(～8月9日)
8月8日	会議等	医学図書館	令和4年度第2回医学図書館運営会議(～23日、メール審議)
8月8日	コンシェルジュ	本館	オープンキャンパス企画「館内スタンプラリー」開催(～8月9日)
8月8日	コンシェルジュ	本館	広報誌 LiMe「オープンキャンパス特別号」配布
8月23日	その他	共通	小泉八雲の自筆書簡画像データ公開
8月23日	展示	本館	企画展示「ラフカディオ・ハーンの手紙ー常松正雄先生講演会に寄せてー」を開催(～9月26日)
8月23日	その他	医学図書館	医学図書館蔵書点検(～8月26日)
9月1日	その他	本館	国立国会図書館「歴史的音源」配信提供サービスの運用開始
9月5日	その他	本館	本館蔵書点検(～9月9日)
9月9日	コンシェルジュ	本館	第11回大学図書館学生協働交流シンポジウム参加
9月15日	会議等	本館	令和4年度第2回附属図書館本館運営会議(オンライン会議)

図書館日誌

年月日	カテゴリ	館区分	事項
9月16日	その他	共通	デジタルアーカイブに地域資料（河本家所蔵資料）を追加
9月19日	その他	医学図書館	天候悪化のため臨時休館
10月3日	展示	本館	企画展示「東洋思想の巨星 中村元博士『はじめのはじまり』」を開催（～10月31日）
10月3日	展示	本館	「ごうぎんSDGs私募債」による整備図書を展示（～10月31日）
11月1日	展示	本館	展示「にほんごにふれよう-にほんご学習用図書あります-」を設置（～11月30日）
11月2日	イベント	本館	学生選書ツアー開催
11月16日	展示	本館	企画展示「しまねで世界と繋がる！」（島大グローバル月間イベント）を開催（～12月7日）
11月16日	会議等	共通	令和4年度第2回附属図書館運営会議（～25日、メール審議）
11月24日	会議等	医学図書館	令和4年度第3回附属図書館医学図書館運営会議(オンライン会議)
12月23日	展示	本館	企画展示「米国製・旧ソ連製・ウクライナ製地図に見るウクライナ侵攻」を開催（～1月18日）
12月23日	その他	本館	天候悪化に伴い臨時休館及び開館時間を変更（～12月24日）
2023年1月13日	会議等	共通	令和4年度第3回附属図書館運営会議（オンライン会議）
1月13日	会議等	本館	令和4年度第3回附属図書館本館運営会議（オンライン会議）
1月16日	その他	共通	NACSIS-CAT/ILLの更新に伴い図書館サービスが一時的に停止（～1月31日）
1月17日	イベント	本館	廃棄予定図書の無償提供会開催【学生・教職員対象】（～1月20日）
1月30日	展示	本館	企画展示「島根大学生が発信する『島根の文学者たち』の世界」を開催（～3月10日）
2月14日	会議等	共通	令和4年度第4回附属図書館運営会議（～20日、メール審議）
2月14日	会議等	本館	令和4年度第4回附属図書館本館運営会議（～20日、メール審議）
3月3日	会議等	医学図書館	令和4年度第4回医学図書館運営会議（～10日、メール審議）
3月16日	その他	本館	館内用ブックカートとバスケットの設置
3月17日	会議等	共通	令和4年度第5回附属図書館運営会議（～27日、メール審議）
3月17日	会議等	本館	令和4年度第5回附属図書館本館運営会議（～27日、メール審議）

図書館日誌

■新型コロナウイルス対応

年月日	館区分	事項
2022年4月1日	医学図書館	学生の入館禁止を解除
5月23日	医学図書館	開館時間外特別利用（24時間利用）を再開
6月	本館	窓開放による機械換気へ移行
6月15日	本館	学外者の入館禁止を解除（館内滞在時間を1日1時間までに制限）
2023年2月	医学図書館	窓開放による換気から機械換気へ移行
3月31日	本館	県外大学進学者への提供サービスの終了（サービス開始日2020/5/13）

本館 Main Library in Matsue

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060
 Tel (0852)32-6083 Fax (0852)32-6089
 竣工：1978(昭和53)年1月17日
 増築竣工：1984(昭和59)年12月25日
 耐震・機能改修：2013(平成25)年2月28日
 構造：鉄筋コンクリート造3階建、書庫8層
 面積：6,826㎡
 席数：557席



医学図書館 Medical Library in Izumo

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1
 Tel (0853)20-2090 Fax (0853)20-2095
 竣工：1979(昭和54)年3月19日
 耐震改修：2007(平成19)年12月20日
 構造：鉄筋コンクリート造3階建
 面積：1,819㎡
 席数：219席



